



日本遺産フェスティバルin倉敷の主会場に

10月25、26日の2日間、文化庁、倉敷市、倉敷市日本遺産推進協議会、日本遺産連盟主催の「日本遺産フェスティバルin倉敷」が倉敷アイビースクエア（以下、アイビー）を主会場にして開催されました。

全国104の日本遺産ストーリー認定地域が年に一度、一堂に会するイベント。特に今年は、制度創設から10周年の節目の年。日本遺産の構成文化財であるアイビーが主会場となることで、日本遺産の中で歴史を身近に感じながら参加できるという特別

な舞台を演出することにもお役に立つことができました。エメラルドホールやアイビースクエアでは、各地のPR展示や体験ブースが出演され、シンポジウムや公開講座も開催されました。

中庭広場では、ステージイベントが催され、グルメブースも立ち並び、広いコートがたくさんのお客さまにぎわいました。倉紡記念館も、2日間、無料開放され、のべ約4500人ものお客さまに見学いただきました。1日2千人を超える入館者

数は、受付担当者も経験したことの無い人数で、多くの方々にクラボウと倉敷や繊維産業の歴史を学んでいただく機会となりました。今回、アイビーを主会場に選んでいただき、中心的スポットになったことで、より多くの地元の方々や観光客の皆さまに倉敷の魅力を伝える舞台としてお役に立てたのではないかと思います。

日本遺産とは地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもの。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形・無形のさまざまな文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外へ発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的とされています。

倉敷市は全国最多タイ3つの日本遺産ストーリーを有しており、アイビーは二輪の綿花から始まる倉敷物語と和洋が織りなす繊維のまちのストーリーを構成する文化財として認定されています。

皆さまも、倉敷はもちろん、日本各地にある日本遺産の推しを、よろしく願っています。
（総務部 桑田 智記）



西門



エメラルドホール

各地の展示、体験ブースでにぎわいました



アイビースクエア

たくさんの参加者であふれました



中庭



中庭ステージ

倉敷市日本遺産推進室からのコメント

このたびは、日本遺産フェスティバルの主会場として、ご協力いただき誠にありがとうございました。おかげさまで、大変多くの方々にご来場いただくことができました。今後も、日本遺産が持つ魅力を市内外に向けて発信してまいりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願い致します。



倉紡記念館

(写真提供：倉敷市日本遺産推進室)

倉敷のシンボルになったかな

世界中から人々が押し寄せ、日本中が沸いた大阪・関西万博が終わり、暑かった季節から一気に寒さが増し、ハロウィンが静かに通り過ぎ、気がつけば、街はクリスマスマスの装いになってきました。

今年もアイビーの中央広場には昨年ドウシンで紹介しました高さ5mのツリーが設置されました。

昨年は、クリスマスマーケットを開催し2日間で2万人の方が来場され、このツリーと一緒に写真を撮り、SNSへ投稿してくれました。

今年も、このツリーを倉敷のシンボルにしたいとの思いから設置したツリーを見に、ご家族



今年も能勢聖紅さん(岡山県出身の装飾家)に飾り付けをお願いしました



中久保 陵次 記

倉敷へお越しの際にはぜひお立ち寄りください。
(カルチャー事業部)

や友人同士、ワンちゃんをインスタグラムに投稿する方もわざわざお越しいただき、たくさんの方に触れられています。毎年テーマカラーを決めて装飾をしていくのですが、今年のカラは赤とゴールド。(ミヤクミヤクの色でもある赤と青にすればよかったですか?とも思ったのですが...)

昨年の赤一色にゴールドを入れてゴージャスさを増し、今年も大勢の方々に触れていただければと願っております。

アイビーにはこの中央広場に鎮座するツリーの他にもフロントロビー、レストラン前通路にもツリーを設置し、お客さまをお迎えしてきております。

美観地区の白鳥

皆さんは倉敷美観地区を流れる倉敷川に白鳥が、飼われて“いることをご存知でしょうか？

大原美術館と語り座大原本邸の間の区間をめぐらしているのが2羽のコブハクチョウ。倉敷観光コンベンションビュローがお世話をしています。

倉敷川では1969年からコブハクチョウを飼育しているそうです。ちなみに、この年は倉敷市によって「倉敷川畔美観地区」が指定された年です。

現在の居住者は雄のソラと雌のユメで2007年に兵庫県の動物園等から譲り受けました。卵を産んでふ化、成長後は近隣の公園に譲渡されています。

今年5月後半に3羽がふ化しました。残念なことに順調に育っているのは1羽だけです。

ひなは全身が灰色の羽毛に覆われていますが1年経つころには白色に生えかわるとのこと。倉敷にお越しの際は倉敷川の白鳥もぜひご覧になってください。

(総務部 高橋 亮輔 記)



▲ 少しずつ羽先が白くなりました紅葉がきれいです



▲ ずいぶん大きくなりました



▲ この頃はひながまだ2羽いました